

令和5年度

宮崎市大字折生迫財産区特別会計
歳入歳出決算審査意見書

宮崎市監査委員

宮 監 第 82 号

令和6年9月24日

宮崎市大字折生迫財産区財産管理者

宮崎市長 清 山 知 憲 殿

宮崎市監査委員 阪 元 勇

宮崎市監査委員 松 浦 史 典

宮崎市監査委員 松 山 清 子

宮崎市監査委員 中 村 鉄 兵

令和5年度宮崎市大字折生迫財産区特別会計歳入歳出決算の審査意見について

地方自治法第233条第2項の規定により審査に付された令和5年度宮崎市大字折生迫財産区特別会計歳入歳出決算について、次のとおり意見を提出します。

目 次

宮崎市大字折生迫財産区特別会計歳入歳出決算審査意見

第1	種類	1
第2	対象	1
第3	着眼点	1
第4	主な実施内容	1
第5	期間	1
第6	審査の結果	1
第7	審査意見	1
第8	決算の概要	
1	特別会計	
(1)	決算収支の状況	2
(2)	歳入	3
(3)	歳出	5
2	財産の状況	7

凡 例

- 1 文中及び表中の金額は、原則として円単位で算定し、千円未満を四捨五入して表示する。従って、金額の合計と内訳が一致しない場合がある。
- 2 表中の金額は、原則として百万円未満を四捨五入して表示する。
- 3 文中及び表中の比率は、原則として円単位で算定し、小数点第2位を四捨五入して小数点第1位まで表示する。従って、比率の合計と内訳が一致しない場合がある。
- 4 表中の収入率及び執行率の増減は、パーセンテージ間の単純差引数値である。
- 5 表中の符号の用法は、次のとおりである。
 - 「0」又は「0.0」……該当数値はあるが、単位未満のものも含む。
 - 「－」……該当数値がないか、又はあっても比率が10,000%以上のもの。
 - 「△」……負数を示し、増減を示すときは減を表す。
 - 「皆増」……前年度、該当数値がなく比率が出せないもの。
 - 「皆減」……本年度、該当数値がなく比率が出せないもの。

令和5年度 宮崎市大字折生迫財産区特別会計歳入歳出決算審査意見

第1 種類

地方自治法第233条第2項に基づく決算審査

第2 対象

令和5年度宮崎市大字折生迫財産区特別会計歳入歳出決算

第3 着眼点

決算その他関係書類が法令に適合し、かつ、正確であるかを主たる着眼点として審査を行った。

第4 主な実施内容

宮崎市監査基準第15条及び第16条に準拠し、令和5年度宮崎市大字折生迫財産区特別会計の歳入歳出決算書及び決算書附属書類について、関係法令に基づき作成されているか、それらの計数が正確であるかを確認するとともに、試査により、各種帳簿、証書類及び提出された関係書類と照合した。

併せて、予算の執行状況及び決算の内容について、関係職員から説明を聴取するとともに、年度比較によって推移の分析を行うなどの方法により審査した。

第5 期間

令和6年8月2日から令和6年9月20日まで

第6 審査の結果

令和5年度宮崎市大字折生迫財産区特別会計の歳入歳出決算書及び決算書附属書類は、いずれも関係法令に基づき作成されており、かつ、その計数は正確であり、予算の執行及びこれに係る財務会計事務の処理は適正であると認めた。

第7 審査意見

令和5年度は、青島ビーチサイド活性化プロジェクト（以下「プロジェクト」という。）等に係る土地貸付や墓地使用料等により収入を確保するとともに、財産区有林下刈業務委託を行うなど、財産区有の土地、直営林及び墓地の適切な維持管理を行った。また、任期満了に伴う財産区議会議員選挙が行われた（令和5年8月6日執行、無投票。）。

令和5年度の決算額は、歳入総額が2,230万2千円、歳出総額が2,022万8千円で、前年度に比べ歳入は102万7千円（4.4%）、歳出は102万9千円（4.8%）ともに減少している。歳入が減少した主な要因は、地上権更新に伴う地上権更新手数料等の財産貸付収入の減少であ

る。また、歳出が減少した主な要因は、財産区有林植栽業務に係る委託料の減少である。その結果、実質収支額は207万4千円となり、前年度に比べ2千円（0.1%）増加した。歳入の予算現額に対する収入率は100.5%、調定額に対する収入率は99.2%である。歳出の予算現額に対する執行率は91.2%で、不用額195万5千円は前年度に比べ17万5千円（9.8%）増加している。歳入・歳出予算については、的確な積算に努めるとともに、適正な執行に尽力されたい。

宮崎市大字折生迫財産区基金については、プロジェクトの進行に伴う土地貸付収入の継続的な確保により、令和元年度以降は同基金からの繰入が行われておらず、令和5年度は400万円を積み立てた結果、基金残高は8,430万円となった。

歳出においては、地方自治法第296条の5第2項の規定に基づき、令和4年度に引き続き宮崎市が実施する青島地域利便性向上事業への繰出が行われた。

プロジェクトの進展と並行して、周辺には商業施設の新規出店が行われており、青島エリアへの投資が進んでいる。令和5年度地価調査では住宅地（青島1丁目）は5.1%、商業地（青島2丁目）は3.1%上昇し、いずれも県内最大の上昇率となっている。このような状況から、プロジェクトの事業体とは良好な関係を維持しながら、引き続き安定した財産収入の確保を図られたい。

また、地方自治法第296条の5第1項の規定を踏まえ、財産区と宮崎市との一体性をそなわないように努めながら、住民の福祉を増進するとともに、適正な財産管理及び財政運営に取り組まれたい。

第8 決算の概要

1 特別会計

(1) 決算収支の状況

決算収支の状況は、次のとおりである。

(単位：千円・%)

区 分	5年度	4年度	増減額	増減率
歳入総額 (A)	22,302	23,328	△ 1,027	△ 4.4
歳出総額 (B)	20,228	21,257	△ 1,029	△ 4.8
歳入歳出差引額 (A) - (B) (C)	2,074	2,072	2	0.1
翌年度へ繰り越すべき財源 (D)	0	0	0	—
実質収支額 (C) - (D)	2,074	2,072	2	0.1

・歳入総額は2,230万2千円（前年度比102万7千円、4.4%減）、歳出総額は2,022万8千円（同比102万9千円、4.8%減）であり、歳入、歳出ともに前年度に比べ減少した。

・歳入歳出差引額（形式収支）及び実質収支額は、ともに207万4千円（同比2千円、0.1%増）となっている。

(2) 歳入

歳入の状況は、次表のとおりである。

(単位：千円・%)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						対予算	対調定
5	22,183	22,484	22,302	182	0	100.5	99.2
4	23,037	23,510	23,328	0	182	101.3	99.2
増減	△ 854	△ 1,027	△ 1,027	182	△ 182	△ 0.8	0.0
増減率	△ 3.7	△ 4.4	△ 4.4	皆増	皆減	—	—

- ・収入率は、予算現額に対して100.5%、調定額に対して99.2%である。
- ・収入済額2,230万2千円は、前年度に比べ102万7千円（4.4%）減少している。これは、繰越金が74万9千円、使用料及び手数料が60万円、諸収入が2万1千円増加したものの、財産収入が239万6千円減少したことによるものである。

〈 款別の状況 〉

(款別収入済額の前年度比較)

(単位：千円・%)

款	5年度	4年度	増減額	増減率	構成比率	
					5年度	4年度
5 使用料及び手数料	903	303	600	198.1	4.0	1.3
10 財産収入	19,306	21,702	△ 2,396	△ 11.0	86.6	93.0
18 繰入金	0	0	0	—	0.0	0.0
20 繰越金	2,072	1,323	749	56.6	9.3	5.7
25 諸収入	21	0	21	—	0.1	0.0
合 計	22,302	23,328	△ 1,027	△ 4.4	100.0	100.0

第5款 使用料及び手数料

(単位：千円・%)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						対予算	対調定
5	602	903	903	0	0	150.0	100.0
4	302	303	303	0	0	100.3	100.0
増減	300	600	600	0	0	49.7	0.0
増減率	99.3	198.1	198.1	—	—	—	—

- ・収入率は、予算現額に対して150.0%、調定額に対して100.0%である。
- ・収入済額90万3千円は、前年度に比べ60万円（198.1%）増加している。これは、墓地の新規貸付が3件あったことによるものである。

第10款 財産収入

(単位：千円・%)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						対予算	対調定
5	19,487	19,488	19,306	182	0	99.1	99.1
4	21,408	21,884	21,702	0	182	101.4	99.2
増減	△ 1,921	△ 2,396	△ 2,396	182	△ 182	△ 2.3	△ 0.1
増減率	△ 9.0	△ 10.9	△ 11.0	皆増	皆減	—	—

- ・収入率は、予算現額と調定額に対していずれも99.1%である。
- ・収入済額1,930万6千円は、前年度に比べ239万6千円（11.0%）減少している。これは土地の売却益や分取林収益等の財産売払収入が86万6千円増加したものの、地上権更新に伴う地上権更新手数料等の財産運用収入が326万2千円減少したことによるものである。
- ・不能欠損額は、平成30年度から土地貸付収入が18万2千円未納となっていたものについて、借受人の破産が確定したことを受け、不納欠損処理を行ったものである。

第18款 繰入金

(単位：千円・%)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						対予算	対調定
5	0	0	0	0	0	—	—
4	1	0	0	0	0	0.0	—
増減	△ 1	0	0	0	0	0.0	—
増減率	皆減	—	—	—	—	—	—

- ・予算現額、調定額、収入済額はいずれも0円である。これは、プロジェクトの進行に伴う土地貸付収入の継続的な確保により、基金からの繰入の必要がなかったことによるものである。

第20款 繰越金

(単位：千円・%)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						対予算	対調定
5	2,071	2,072	2,072	0	0	100.0	100.0
4	1,323	1,323	1,323	0	0	100.0	100.0
増減	748	749	749	0	0	0.0	0.0
増減率	56.5	56.6	56.6	—	—	—	—

- ・収入率は、予算現額と調定額に対していずれも100.0%である。
- ・収入済額207万2千円は、前年度に比べ74万9千円（56.6%）増加している。

第25款 諸収入

(単位：千円・%)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						対予算	対調定
5	23	21	21	0	0	92.0	100.0
4	3	0	0	0	0	4.3	100.0
増減	20	21	21	0	0	87.7	0.0
増減率	666.7	—	—	—	—	—	—

※令和4年度の調定額、収入済額はともに129円

- ・収入率は、予算現額に対して92.0%、調定額に対して100.0%である。

(3) 歳出

歳出の状況は、次表のとおりである。

(単位：千円・%)

年度	予算現額	支出済額	不用額	執行率
5	22,183	20,228	1,955	91.2
4	23,037	21,257	1,780	92.3
増減	△ 854	△ 1,029	175	△ 1.1
増減率	△ 3.7	△ 4.8	9.8	—

- ・執行率は、予算現額に対して91.2%である。
- ・支出済額2,022万8千円は、前年度に比べ102万9千円（4.8%）減少している。これは、議会費が5万5千円、総務費が2万2千円増加したものの、諸支出金が110万6千円減少したことによるものである。
- ・不用額195万5千円は、前年度に比べ17万5千円（9.8%）増加している。

〈 款別の状況 〉

(単位：千円・%)

款	5年度	4年度	増減額	増減率	構成比率	
					5年度	4年度
10 議会費	1,614	1,559	55	3.6	8.0	7.3
15 総務費	8,056	8,034	22	0.3	39.8	37.8
20 諸支出金	10,558	11,663	△ 1,106	△ 9.5	52.2	54.9
25 予備費	0	0	0	—	0.0	0.0
合計	20,228	21,257	△ 1,029	△ 4.8	100.0	100.0

第10款 議会費

(単位：千円・%)

年度	予算現額	支出済額	不用額	執行率
5	1,708	1,614	94	94.5
4	1,644	1,559	85	94.8
増減	64	55	9	△ 0.3
増減率	3.9	3.6	10.0	—

- ・支出済額161万4千円は、前年度に比べ5万5千円（3.6%）増加している。これは、報酬が2万2千円、旅費が2万1千円、交際費が1万2千円増加したことによるものである。
- ・不用額9万4千円は、各費目の執行残である。

第15款 総務費

(単位：千円・%)

年度	予算現額	支出済額	不用額	執行率
5	9,109	8,056	1,053	88.4
4	9,614	8,034	1,580	83.6
増減	△ 505	22	△ 527	4.8
増減率	△ 5.3	0.3	△ 33.3	—

- ・支出済額805万6千円は、前年度に比べ2万2千円（0.3%）増加している。これは、財産管理費が135万9千円減少したものの、財産区選挙費が107万7千円（皆増）、墓地維持管理費が29万5千円、一般管理費が9千円増加したことによるものである。
- ・不用額105万3千円は、各費目の執行残である。

第20款 諸支出金

(単位：千円・%)

年度	予算現額	支出済額	不用額	執行率
5	11,096	10,558	538	95.1
4	11,732	11,663	69	99.4
増減	△ 636	△ 1,106	470	△ 4.3
増減率	△ 5.4	△ 9.5	685.4	—

- ・支出済額1,055万8千円は、前年度に比べ110万6千円（9.5%）減少している。これは、基金への積立金が100万円、人件費相当分や青島地域利便性向上事業に係る宮崎市への繰出金が10万6千円減少したことによるものである。

第25款 予備費

(単位：千円・%)

年度	予算現額	支出済額	不用額	執行率
5	270	0	270	0.0
4	47	0	47	0.0
増減	223	0	223	0.0
増減率	474.5	—	474.5	—

・予算現額は27万円で、予備費の充用はなかった。

2 財産の状況

財産の状況は、下表のとおりである。

区分	前年度末現在高	年度中増減高	決算年度末現在高
1 土地等 (㎡)	415,349.98	62,092.56	477,442.54
墓地 (㎡)	31,085.00	5.00	31,090.00
青島公園墓地 953区画			
白坂墓地 81区画			
五庵園墓地 5区画			
山林 (㎡)	104,032.22	95,421.91	199,454.13
※山林(立木の推定蓄積量) (㎥)	1,560.48	1,431.33	2,991.81
原野 (㎡)	236,331.08	△ 34,047.35	202,283.73
※原野(立木の推定蓄積量) (㎥)	3,514.95	△ 510.71	3,004.24
池沼・溜池 (㎡)	3,064.00	0.00	3,064.00
宅地 (㎡)	23,083.05	6,386.00	29,469.05
※建物(延面積) (㎡)	0.00	360.54	360.54
地上権設定地 (㎡)	5,349.00	0.00	5,349.00
その他 (㎡)	12,405.63	△ 5,673.00	6,732.63
2 出資による権利 (千円)	883	0	883
宮崎中央森林組合出資金 (千円)	883	0	883
3 基金 (千円)	80,300	4,000	84,300
宮崎市大字折生迫財産区基金 (千円)	80,300	4,000	84,300

※土地等の合計には、山林及び原野の立木の推定蓄積量、宅地の建物の延面積を含まない。

・土地等（山林及び原野の立木の推定蓄積量、建物の延面積を除く。）については、地籍調査による面積・地目変更による増減が発生したことにより、原野が34,047.35㎡、その他が5,673.00㎡減少し、山林が95,421.91㎡、宅地が6,386.00㎡、墓地が5㎡増加した。建物については、地上権を設定していた宅地上の建物の所有権移転手続きが完了したことに伴い、360.54㎡増加した。

- 出資による権利については、決算年度中において増減はなかった。
- 基金の決算年度末現在高は8,430万円で、前年度末残高から400万円増加した。

